

事務事業名	河川ごみ除去対策事業費										担当課	部課名	環境部環境総務課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	03	細目	001	説明	01	課等の長	阿部 英一	電話	3312

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 59 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	海岸へ流出する河川ごみを除去するため、1984年に境川に除塵機を設置し、河川の浮遊ごみ除去を行っている。						
対象	1. 個人	市民				438,968 人	
根拠法令等							
事業実施内容	境川除塵機のごみ収集(可燃物:440kg、不燃物:360kg)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		393 千円	主な内容		
	933 千円	費目	支出済額 (千円)				
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		933 千円	3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)		
	933 千円	費目	支出済額 (千円)				
	分担金・負担金					令和3年度	
	使用料・手数料					常時勤務職員※	0.40人工
	国庫支出金					短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
県支出金			合計	0.40人工			
その他 ()			※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く				
一般財源		933 千円	会計年度任用職員(配置数)			0.00人	

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
		行政費用 A	5,815	5,019	4,548	4,679				
		(1)現金を伴う支出 (千円)	6,170	5,016	4,549	4,679				
		事業費(支出済額)	2,315	1,129	1,060	933				
		償還金利息	0	0	0	0				
		人件費合計(①+②+③)	3,855	3,887	3,489	3,746				
		①常時勤務職員等の給与等	3,667	3,656	3,273	3,579				
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0				
		③退職金相当額	188	231	216	167				
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-355	3	-1	0				
		①減価償却費	0	0	0	0				
		②退職給与引当金繰入額	-355	3	-1	0				
		③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0						
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		13.54	429,317	11.59	433,060	10.45	435,121	10.66	438,968	
成果実績	指標名	目標	1,540	単位	5,520	単位	3,670	単位	1,470	単位
			kg	kg	kg	kg	kg	kg		
成果実績	実績	実績	5,520	単位	3,670	単位	1,470	単位	800	単位
			kg	kg	kg	kg	kg	kg		
備考										

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
	事業の方向性	現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	生活環境美化推進費										担当課	部課名	環境部環境総務課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	03	細目	004	説明	01	課等の長	阿部 英一	電話	3312

1. 事業概要

事業開始年度	平成 19 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	「藤沢市きれいで住みよい環境づくり条例」に基づき、路上喫煙や空き缶等のポイ捨て、落書き、深夜花火等の迷惑行為を防止するための啓発・指導等を行う。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	条例(市) 藤沢市きれいで住みよい環境づくり条例				
事業実施内容	1.藤沢市きれいで住みよい環境づくり条例啓発キャンペーンの実施(4月28日、11月24日) 2.路上喫煙禁止区域内での巡回指導(総指導啓発件数:2,002件) 3.市指定喫煙所の清掃等維持管理 4.夏期の海岸における深夜花火の巡回指導(7月31日～9月4日の毎週金曜・土曜日の夜間21～5時) 5.落書き対策(消去件数:142件)				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3,072 千円	巡回指導員通勤費・巡回指導員移動費 路面シート等作成 パーテーション清掃、喫煙所施設賠償責任保険料 海岸巡回指導・喫煙所清掃業務委託								
		費目	支出済額(千円)										
		旅費	64 千円										
		需用費	197 千円										
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		3,072 千円	3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>常時勤務職員※</td> <td>1.20人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1.20人工</td> </tr> </table> ※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く 会計年度任用職員(配置数) 8.00人		令和3年度	常時勤務職員※	1.20人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	1.20人工
		令和3年度											
	常時勤務職員※	1.20人工											
	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工											
	合計	1.20人工											
		費目	支出済額(千円)										
	分担金・負担金												
	使用料・手数料												
	国庫支出金												
	県支出金												
	その他()												
	一般財源	3,072 千円											

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		行政費用 A	38,226	29,973	36,412	37,066		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	38,442	32,372	36,417	37,065		
		事業費(支出済額)	3,810	5,350	3,184	3,072		
		償還金利息	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	34,632	27,022	33,233	33,993		
		①常時勤務職員等の給与等	18,334	10,969	9,820	10,736		
		②会計年度任用職員の報酬等	15,360	15,360	22,765	22,756		
		③退職金相当額	938	693	649	501		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-216	-2,399	-5	1		
		①減価償却費	0	0	0	0		
		②退職給与引当金繰入額	-216	-2,399	-5	1		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	89.04	429,317	69.21	433,060	83.68	435,121	84.44	438,968
成果実績	指標名	藤沢市きれいで住みよい環境づくり巡回指導員による注意指導・啓発件数	目標	5,000 単位: 件	実績	1,946 単位: 件		
		備考						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	生活環境団体等指導育成費										担当課	部課名	環境部環境総務課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	細目	001	説明	01	課等の長	阿部 英一	電話	3312

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務	
事業概要	市内13地区(14団体)の代表者により構成される「藤沢市生活環境連絡協議会」による自主的な地域清掃、啓発行事の開催等環境美化活動に対して、補助金交付等の支援を行うとともに、協働によるごみの減量・資源化及び環境美化をテーマとした市民大会、各種啓発キャンペーンに取り組む。							
対象	3. 団体	地区生活環境協議会					14	地区
根拠法令等	その他(要綱等)							
事業実施内容	1.地区生活環境協議会(14団体)の活動費に対する補助 2.藤沢市生活環境連絡協議会との協働によるごみ減量、資源化及び環境美化をテーマとした市民大会の開催(新型コロナウイルス感染症対策の観点から中止) 3.市内小・中学校の児童及び生徒への美化・リサイクル推進ポスターの募集及び入選作品の表彰 応募数 648点 入選作品数 28点							

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳					
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主要内容			
	2,117 千円	報償費	132 千円	美化・リサイクル推進ポスター報償費			
		需用費	52 千円	ポスターケース			
負担金補助及び交付金		1,933 千円	藤沢市生活環境連絡協議会補助金				
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳			3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)		
	支出済額	費目	支出済額(千円)				
	2,117 千円	分担金・負担金				令和3年度	
		使用料・手数料				常時勤務職員※	0.20人工
		国庫支出金				短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
		県支出金				合計	0.20人工
その他(繰入金)		1,933 千円		※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く			
一般財源	184 千円		会計年度任用職員(配置数)	0.00人			

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
		行政費用 A	6,088	6,461	3,547	3,990					
		(1)現金を伴う支出 (千円)	6,443	6,458	4,152	3,990					
		事業費(支出済額)	2,588	2,571	2,407	2,117					
		償還金利息	0	0	0	0					
		人件費合計(①+②+③)	3,855	3,887	1,745	1,873					
		①常時勤務職員等の給与等	3,667	3,656	1,637	1,789					
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0					
		③退職金相当額	188	231	108	84					
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-355	3	-605	0					
		①減価償却費	0	0	0	0					
		②退職給与引当金繰入額	-355	3	-605	0					
		③不納欠損額	0	0	0	0					
④その他()	0	0	0	0							
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		14.18	429,317	14.92	433,060	8.15	435,121	9.09	438,968		
成果実績	指標名	目標	500	単位	人	500	単位	人	500	単位	人
	実績	233	単位	人	222	単位	人	-	単位	人	-
備考		令和2・3年度市民大会は新型コロナウイルス感染症対策の観点から中止となった。									

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容 新型コロナウイルス感染症対策の観点から中止している事業については、感染症対策を徹底した事業実施手法の検討が必要となる。	有
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	公衆便所管理費										担当課	部課名	環境部環境総務課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	細目	002	説明	01	課等の長	阿部 英一	電話	3312

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	市内に15カ所ある公衆便所等の維持管理及び清掃を行うことにより、利用者への快適な利用環境の確保と公衆衛生の向上を図る。																
対象	1. 個人	市民														438,968	人
根拠法令等	条例(市)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、藤沢市公衆便所条例														
事業実施内容	公衆衛生を保つため、各公衆便所の日常清掃を1日1~3回、定期清掃を年2回、排水管の高圧洗浄を年1回実施した。維持管理として9カ所の公衆便所の施設修繕を行った。																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 33,401 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主要内容
		需用費	7,609 千円	消耗品・施設修繕・光熱水費(電気代・上下水道代)
		役務費 委託料	273 千円 25,519 千円	手数料・施設賠償責任保険料 公衆便所等清掃業務委託
財源内訳	R3年度 支出済額 33,401 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金	1,462 千円	
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	31,939 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.50人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.50人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
コスト	支出	行政費用 A	48,046	46,510	43,813	46,857			
		(1)現金を伴う支出 (千円)	37,766	37,732	35,040	38,083			
		事業費(支出済額)	32,947	32,872	30,677	33,401			
		償還金利息	0	0	0	0			
		人件費合計(①+②+③)	4,819	4,860	4,363	4,682			
		①常時勤務職員等の給与等	4,584	4,571	4,092	4,473			
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
		③退職金相当額	235	289	271	209			
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	10,280	8,778	8,773	8,774			
		①減価償却費	8,774	8,774	8,774	8,774			
		②退職給与引当金繰入額	1,506	4	-1	0			
		③不納欠損額	0	0	0	0			
		④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		111.91	429,317	107.40	433,060	100.69	435,121	106.74	438,968
成果実績	指標名	目標	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
上記指標名の設定ができない理由		公衆便所の適切な維持管理を行うことにより、利用者への快適な利用環境の確保と公衆衛生の向上を図るものであり、成果指標を定めることが困難なため。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	一般清掃総務費										担当	部課名	環境部環境総務課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	01	細目	002	説明	01	課等の長	阿部 英一	電話	3313

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務	
事業概要	廃棄物行政の円滑な運営及び運営に必要な調査等を行う。							
対象	1. 個人	市民					438,968	人
根拠法令等	法律等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、自動車リサイクル法、PCB特別措置法						
事業実施内容	1.廃棄物行政の円滑な運営及び運営に必要な調査事務 2.一般廃棄物処理基本計画の策定(2022年3月に改定。排出抑制目標:市民一人一日当たりのごみ排出量令和13年度までに820g/人・日まで削減) 3.一般廃棄物処理業の許可及び指導 4.全国、各市で構成する協議会等への参加による情報収集 5.自動車リサイクル法に基づく許可及び登録 6.高濃度PCB廃棄物(安定器等)の処理							

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 89,291 千円	事業費節別内訳			3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>常時勤務職員※</td> <td>1.70人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1.70人工</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く</td> </tr> <tr> <td>会計年度任用職員(配置数)</td> <td>0.00人</td> </tr> </table>		令和3年度	常時勤務職員※	1.70人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	1.70人工	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		会計年度任用職員(配置数)	0.00人
			令和3年度														
		常時勤務職員※	1.70人工														
		短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工														
合計	1.70人工																
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く																	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人																
費目	支出済額(千円)	主要内容															
役務費	363 千円	災害時等緊急対応作業															
委託費	83,223 千円	高濃度PCB廃棄物(安定器等)処理・藤沢市一般廃棄物処理基本計画改定業務委託															
使用料及び賃借料	1,564 千円	自動車リサイクル法システム賃借料															
負担金補助及び交付金	3,921 千円	協議会・研修会参加負担金、湘南東ブロックごみ処理広域化調整会議負担金															
その他	220 千円	旅費・需用費															
財源内訳	R3年度 支出済額 89,291 千円	事業費節別財源内訳															
		費目	支出済額(千円)														
		分担金・負担金															
		使用料・手数料	588 千円														
		国庫支出金															
		県支出金	1,771 千円														
その他()																	
一般財源	86,932 千円																

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度									
		行政費用 A	24,511	42,816	115,922	105,212									
		(1)現金を伴う支出 (千円)	24,737	42,798	117,137	105,210									
		事業費(支出済額)	4,501	22,389	102,306	89,291									
		償還金利息	0	0	0	0									
		人件費合計(①+②+③)	20,236	20,409	14,831	15,919									
		①常時勤務職員等の給与等	19,251	19,196	13,911	15,209									
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0									
		③退職金相当額	985	1,213	920	710									
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-226	18	-1,215	2									
		①減価償却費	0	0	0	0									
		②退職給与引当金繰入額	-226	18	-1,215	2									
		③不納欠損額	0	0	0	0									
		④その他()	0	0	0	0									
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	57.09	429,317	98.87	433,060	266.41	435,121	239.68	438,968							
成果実績	指標名	市民1人1日当たりのごみ排出量	目標	895	単位	g/人日	895	単位	g/人日	895	単位	g/人日	895	単位	g/人日
			実績	865	単位	g/人日	864	単位	g/人日	836	単位	g/人日	812	単位	g/人日
	備考														

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	廃棄物処理対策事業費										担当課	部課名	環境部環境総務課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	02	細目	002	説明	06	課等の長	阿部 英一	電話	3313

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務	
事業概要	循環型社会を構築していくための「3R(リデュース、リユース、リサイクル)」の方針に従い、焼却灰等を溶融スラグ化して資源化することで、最終処分場への埋立量を減らし、施設の延命化を図る。							
対象	1. 個人	市民					438,968	人
根拠法令等	法律等	廃棄物の処理及び清掃等に関する法律						
事業実施内容	北部環境事業所及び石名坂環境事業所から発生した焼却灰等(令和3年度実績10,005t)の全量を民間溶融処理業者等で溶融処理等資源化を実施した。 また、焼却施設定期点検中に処理できない一般廃棄物について、市外にて適正処理(搬出:令和3年度実績659t)及び資源化(溶融処理:令和3年度実績129t)を行った。							

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	支出済額	費目	支出済額(千円)		主な内容
出	545,075 千円	旅費	5 千円	焼却灰等溶融処理業務委託にかかる現地確認 他市ごみ処理手数料 焼却灰等搬出・溶融処理業務委託 茨城県鹿嶋市への環境保全協力金	
		役務費	18,680 千円		
		委託料	524,737 千円		
		負担金補助及び交付金	1,653 千円		
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳		令和3年度 常時勤務職員※ 1.00人工 短時間勤務職員(再任用・任期) 0.00人工 合計 1.00人工 ※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く 会計年度任用職員(配置数) 0.00人	
	支出済額	費目	支出済額(千円)		
	545,075 千円	分担金・負担金			
		使用料・手数料			
		国庫支出金			
		県支出金			
その他(繰入金)		347,389 千円			
一般財源		197,686 千円			

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		行政費用 A	567,465	582,485	570,381	554,440		
		(1)現金を伴う支出(千円)	567,573	582,476	570,385	554,439		
		事業費(支出済額)	557,937	572,757	561,661	545,075		
		償還金利息	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	9,636	9,719	8,724	9,364		
		①常時勤務職員等の給与等	9,167	9,141	8,183	8,946		
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0		
		③退職金相当額	469	578	541	418		
		(2)現金を伴わない支出(千円)	-108	9	-4	1		
		①減価償却費	0	0	0	0		
		②退職給与引当金繰入額	-108	9	-4	1		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
		④その他()	0	0	0	0		
		市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	1321.79	429,317	1345.04	433,060	1310.86	435,121
成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	10,926	単位	10,932	単位	10,532	単位
備考	実績は、一般廃棄物の排出量に基づいた結果であることから、目標を設定できる性質のものではないため。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
	事業の方向性	現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	し尿収集関係費										担当課	部課名	環境部環境総務課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	03	細目	001	説明	01	課等の長	阿部 英一	電話	3313

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務
事業概要	市民負担を軽減するため、手数料を低額に定めたし尿くみ取り業務を実施する事業者に対して、運搬経費から手数料収入を引いた額を負担する。 また、生活保護世帯のくみ取り処理手数料を全額負担する。						
対象	1. 個人	くみ取り便槽使用世帯人員				約	1,060 人
根拠法令等	法律等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業実施内容	1.し尿くみ取り業者の超過負担分に対する市負担金の拠出 2.生活保護世帯のし尿くみ取り手数料に対する負担金の拠出 3.くみ取り便槽使用世帯への防疫薬剤の投入(夏期)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳				
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主要内容		
	41,575 千円	委託料	425 千円	くみ取り便槽使用世帯薬剤投入業務委託		
		負担金補助及び交付金	41,150 千円	し尿くみ取り負担金(生活保護世帯分含む)		
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳			3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	支出済額	費目	支出済額 (千円)			
	41,575 千円	分担金・負担金				
		使用料・手数料				
		国庫支出金				
		県支出金				
その他 ()						
一般財源		41,575 千円				
				令和3年度		
				常時勤務職員※	0.20人工	
				短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	
				合計	0.20人工	
				※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		
				会計年度任用職員(配置数)	0.00人	

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
		行政費用 A	46,907	45,322	42,750	43,448				
		(1)現金を伴う支出 (千円)	46,950	45,319	43,355	43,448				
		事業費(支出済額)	43,095	41,432	41,610	41,575				
		償還金利息	0	0	0	0				
		人件費合計(①+②+③)	3,855	3,887	1,745	1,873				
		①常時勤務職員等の給与等	3,667	3,656	1,637	1,789				
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0				
		③退職金相当額	188	231	108	84				
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-43	3	-605	0				
		①減価償却費	0	0	0	0				
		②退職給与引当金繰入額	-43	3	-605	0				
		③不納欠損額	0	0	0	0				
		④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		109.26	429,317	104.66	433,060	98.25	435,121	98.98	438,968	
成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
			し尿くみ取り収集量	2,250.5	単位	2,302.7	単位	2,058.6	単位	2,122.8
備考	実績は、市民等からの収集依頼に基づいた結果であることから、目標を設定できる性質のものではないため。									

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	浄化槽清掃助成関係費										担当課	部課名	環境部環境総務課			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	03	細目	003	説明	01	課等の長	阿部 英一	電話	3313

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 63 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	藤沢市浄化槽清掃助成に関する規程に基づき、浄化槽清掃費の一部を助成し、浄化槽設置管理者の負担を軽減する。				
対象	4. その他	市内下水道処理区域外で住居の用に供している建物に付帯する浄化槽			2,808 基
根拠法令等	条例(市)	藤沢市浄化槽清掃費助成に関する規程			
事業実施内容	藤沢市浄化槽清掃助成に関する規程に基づき、浄化槽清掃費の一部を助成し、浄化槽設置管理者の負担を軽減する。(浄化槽清掃業者[(株)藤沢市興業公社]が助成額を控除した金額を設置者に請求し、市は控除した額を補助金として清掃事業者に交付)				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	10,241 千円	費目	支出済額(千円)		令和3年度
		負担金補助及び交付金	10,241 千円		浄化槽清掃費助成
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和3年度	
	10,241 千円	費目	支出済額(千円)	常時勤務職員※	
		分担金・負担金		0.20人工	
		使用料・手数料		短時間勤務職員(再任用・任期)	
		国庫支出金		0.00人工	
		県支出金		合計	
	その他()		10,241 千円	0.20人工	
	一般財源		10,241 千円	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
				会計年度任用職員(配置数)	
				0.00人	

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
		行政費用 A	13,250	12,181	11,447	12,114				
		(1)現金を伴う支出 (千円)	13,293	12,480	11,750	12,114				
		事業費(支出済額)	9,438	9,565	10,005	10,241				
		償還金利息	0	0	0	0				
		人件費合計(①+②+③)	3,855	2,915	1,745	1,873				
		①常時勤務職員等の給与等	3,667	2,742	1,637	1,789				
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0				
		③退職金相当額	188	173	108	84				
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-43	-299	-303	0				
		①減価償却費	0	0	0	0				
		②退職給与引当金繰入額	-43	-299	-303	0				
		③不納欠損額	0	0	0	0				
		④その他()	0	0	0	0				
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	30.86	429,317	28.13	433,060	26.31	435,121	27.60	438,968
成果実績	指標名	目標	2,809	単位	2,809	単位	2,809	単位	2,669	単位
		実績	2,659	単位	2,669	単位	2,753	単位	2,808	単位
備考										

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------